

## 令和8年第1回狭山市定例教育委員会会議議事録

開催日時 令和8年1月26日(月)  
午後1時30分から午後2時6分まで

開催場所 市役所 5階 教育委員会室

出席者 教 育 長 滝 嶋 正 司  
教育長職務代理者 古 谷 広 明  
委 員 安河内 由 香  
委 員 青 田 和 義

欠 席 者 な し

委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

生涯学習部長	五十嵐 和 也	次長兼教育総務課長	増 島 康 浩
社会教育課長	石 井 巳代子	中央図書館長	原 由美子
スポーツ振興課長	河 井 一 敏	学校教育部長	宇佐見 昌 義
次長兼教育指導課長	利根川 浩 子	教育センター所長	坂 木 裕 子
書 記	松 居 亮		

会議の公開・非公開 公開

傍 聴 者 数 0名

### 報告事項

- ・令和8年狭山市二十歳の集いの結果について

報告者(社会教育課長)

#### (要旨)

令和8年狭山市二十歳の集いは、1月11日(日)、市民会館大ホールにおいて開催され、該当者1,297人に対し出席者は925人であり、出席率は71.32%と前回と比較して2.04ポイント低くなっている。なお、今年は人数の制限はあるものの該当者の家族も入場できるように変更した。また、式典の様子をYouTubeにて限定公開ではあるが、ライブ配信を行った。そのときの同時視聴者数は最大で112人であり、映像は1月末までアーカイブでの配信を行う予定となっている旨の報告がなされた。

委員からは、今回、二十歳の主張発表者が非常にバラエティに富んでおり、出席者の態度も非常に良く、いい時間を過ごすことができたとの感想が述べられた。また、家族も入場することができよかったとの声をたくさん聞くことができた。家族の出席者は38人と、少し少ないかなとも感じたが、家族にとっ

ても良いことだと思えるので、今後も続けていただきたい。チケットもかわいくてよかった。ティッシュで、出席者数を数えるというのも、わかりやすく良かったとの感想がなされた。

・狭山台図書館の開館時間及び休館日の変更について

報告者（中央図書館長）

（要旨）

地域スポーツ施設及び狭山台図書館の指定管理者の更新については、昨年12月の第4回狭山市議会定例会で議決され、引き続きフレンドシップ狭山台共同事業体が管理運営することとなり、狭山台図書館については、共同事業体の構成員であるヤオキン商事株式会社が引き続き運営することとなった。狭山台図書館の開館時間及び休館日については、当初、フレンドシップ狭山台共同事業体からの提案では、開館時間は午前10時から午後7時まで、休館日は毎週火曜日とするというものであったが、基本協定の締結にあたり事業者と協議を重ねた結果、開館時間は、現行午前9時半から午後8時までを、閉館時間のみ1時間短縮し午後7時までとし、休館日は、現行の第2及び第4月曜日を毎週月曜日とすることで合意した。

今回の変更にあたり、来館者数及び利用者数などの利用状況等を見ると、令和6年度の狭山台図書館については、19時以降の1日あたりの平均来館者数と平均利用者数の来館者総数・利用者総数に対する割合は、それぞれ4.1%と4.0%であり、一方、中央図書館の来館者数および利用者数などの利用状況も同様に、19時以降の1日あたりの平均来館者数と平均利用者数の来館者総数・利用者総数に対する割合は、それぞれ4.4%、4.9%であり、中央図書館の来館者数が最も少ない時間帯であっても、狭山台図書館の日中1時間当たりの人数相当が中央図書館に来館し利用している。狭山台図書館の曜日別の利用状況は、全体の平均来館者数は410人である。月曜日の平均来館者数は359人であり、金曜日に次いで少ない水準であり、全体の平均値を下回っている。狭山台図書館の来館者は、特に土日に多い傾向であり、他の曜日は相対的に少ない傾向ではあるが、その中でも月曜日は比較的少ない傾向にある。また、近隣市の開館日の状況を見ると、20時以降も開館している館は26館中7館で、本館・分館いずれも少数である。休館日については、多くの館が毎週特定の曜日、月曜日が多いが、休館としている。このことから、開館時間を午後7時までに変更し、休館日を全ての月曜日に変更しても、近隣市と比べ、開館日時が特段少ないということにはならないと考える。昨年3月には、図書館サービスの向上に向けた利用者ニーズの把握のために利用者アンケートを実施したが、アンケート項目の一つに開館日時に関する質問を設けたところ、「現状のままが良い」が57%と、半数以上の利用者が現状維持を望む旨回答している一方で、「もう少し短縮しても良い」が25%と、短縮について容認する意見も一定数見受けられた。現状の図書館の利用状況や近隣市と比較した開館日時の状況、市の財政状況や新たな行政課題への対応等を加味すると、開館日時の見直しを検討してもよい状況であると考えられるが、一方で半数以上の利用者が現状維持を望む旨回答している状

況があることに加えて、利用者へ大きな影響がない範囲での見直しとなるように配慮すべきであると考えている。

以上のことから、狭山台図書館の開館時間及び休館日の変更については、利用者に大きな影響がないものと考えているが、今後も利用者からの意見等を参考にしながら再設定等を検討していく。また、開館日時等の見直しを行う一方で、電子図書館の導入を行う等、代替手段により利用者サービスの向上に努め、時世にあった図書館サービスの提供を実施していく。なお、中央図書館の開館時間・休館日については、変更はない。今回の変更については、あらゆる媒体を使い利用者に周知していく旨の報告がなされた。

・ クロスカントリー in Sayama 2025 の開催結果について

報告者（スポーツ振興課長）

（要旨）

今大会は1都8県から1,090名のエントリーがあり、当日は肌寒い雨天の中での開催となったが、825名のランナーが完走した。昨年とは異なり、ゲストランナーの出走はなかったが、武蔵野学院大学陸上競技部の選手4名が招待選手として一般男子の部に出走し大会を盛り上げた。大会の運営には、狭山市スポーツ協会の実行委員を初め、武蔵野学院大学陸上競技部やスポーツボランティアなど、前日の準備から当日の運営まで延べ約250名を超える多くの人にご協力いただき、大きなけがや体調を崩す参加者などもなく、無事に大会を終えることができた。なお、狭山市産の里芋を使った芋煮の提供については、気温が低かったこともあり、多くの参加者から好評を得た旨の報告がなされた。

・ 令和7年度転入教職員と教育委員との懇談会について

報告者（学校教育部長）

（要旨）

本懇談会は、令和7年12月19日、令和7年度当初人事で本市に転入してきた教職員36名を対象に実施し28名が出席した。今年度は例年よりも人数が多かったため4グループに分かれ、少人数で話しやすい雰囲気の中で行った。参加者からは、本市の良さや児童生徒の良さ、また学校の良さなど、肯定的・好意的な意見をたくさん聞くことができた。特に、職員室の雰囲気が良いところ。それが働き方に繋がっていること、給食が美味しいなどの話が複数あった。反対に、本市に来てみて課題に感じている点についても積極的に述べてもらった。各人が、自身の指導力や良さなどを発揮して、各学校で活躍している様子も分かり、今後も引き続き本市での更なる活躍を期待している旨の報告がなされた。

委員から質疑等では、懇談会に出席し大変参考になった。個人的な感想ではあるが、例えば、子どもたちの学力が低いという表現はいかがかと。正確に言うのであれば、着任し8か月も経ち、自分が教え育てているわけだから、自分の指導が及ばず、学力を高めるまでには至らなかったというのが通常の間感ではないのかなと思った。他人事のように発言しているのを聞いて違和感を覚えた。できれば事務局でその発言を砕いて広げてもらえるとういのはどの指摘

がなされた。事務局からは、その点については、学力が低いということをご自分ごととして捉えてほしいと思ったが、前年度の指導について、どうしても自分の指導ではないというような捉え方もあるのかなと思うので、事務局の司会の方でうまく進行できるようにする旨の答弁がなされた。

昨年もだが、話の中で必ずタブレットが使いにくいという話が出てくるが、他市と狭山市とでは違うのかとの質疑に、同じ機種を使っているところもあるが、各市町村によって使っている機種は異なる。現在使用している機種もだいぶ年数が経過しており、キーボードのキーが壊れるなどの不具合を学校現場からは聞いている。ここで更新時期を迎えており、次期のタブレットについては、機能性などを考慮したものを導入する予定である旨の答弁がなされた。

・令和7年度スクールカウンセラー活動状況等について

報告者（教育センター所長）

（要旨）

スクールカウンセラーは県費により市内で9名配置されている。小学校には1か月に1回程度、中学校には1週間に1回程度の割合で学校を訪問し、保護者との面談や児童・生徒との面談等を各学校で計画的に実施している。中学校の実相談件数は199件であり、内訳は不登校73件と依然多い状況であり、また、心身の健康・保健については増加傾向にある。小学校の実相談件数は185件であり、内訳は不登校18件と減少傾向であり、心身の健康・保健と発達障害等については増加傾向にある。いじめについては、相談はあったが、いずれも解消となっている。不登校については、中学校では、「教室以外の場所に登校できていたが回数や時間が増えた」や「継続的に教室で過ごしている」が、昨年の同時期に比べて増加している旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、スクールカウンセラーが関わった相談の中で、心身の健康・保健については増加傾向にあるということだが、具体的にどういった相談が多いのかとの質疑に、近年よく聞く言葉としては起立性調節障害、朝なかなか起きられないというようなことが中学生を含めて増えている。件数は正確には把握していないが、センター内では話題に上がっている旨の答弁がなされた。

・各種審議会等の会議結果概要について

報告者（社会教育課長）

（要旨）

令和7年度第2回狭山市文化財保護審議会の開催結果について、その概要について報告がなされた。

・狭山市教育委員会後援名義の使用行事について

報告者（社会教育課長）

（スポーツ振興課長）

（教育指導課長）

(要旨)

社会教育課関係 5 件、スポーツ振興課関係 1 件、教育指導課関係 1 件の後援名義使用承認の申し出があり、審査の結果、使用を承認した旨の報告がなされた。

委員からの質疑等では、若晴フェスタ 2026 について、入曽駅前の活性化を目的にしてという説明があったが、入曽駅前にした理由はどの質疑に、申請してきた団体、一般社団法人地域・社会子育て若者支援の代表理事は、現在、入曽で活動されており、事務所も入曽ということで、入曽で実施するものと考えられる旨の答弁がなされた。

## 議 案

### 議案第 1 号 狭山市教育委員会事務局の窓口受付時間に関する規則

令和 8 年 2 月 2 日（月）より開始する市役所本庁舎等における窓口受付時間の短縮に伴い、狭山市教育委員会事務局の窓口受付時間に関する規則を制定することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 1 号については、原案可決した。

### 議案第 2 号 狭山市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則

狭山市行政組織規則の一部改正に伴い、狭山市教育委員会事務局組織規則の一部を改正することについて、教育委員会の議決を得るため、提案がなされたものである。

議案第 2 号については、原案可決した。

以 上